



Title	鷺宮 x 『らき すた』 タイアップの経緯とその後の展開年表
Author(s)	松本, 真治//制作; 山村, 高淑//編集・レイアウト
Issue Date	2013-10-19
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/53425
Type	lecture
Note	2013年10月19日(土), 10:30-16:40, アニ玉祭「アニメ・マンガの聖地サミットin 埼玉」配布資料, 『アニ玉祭(アニメ・マンガまつりin 埼玉)』, 大宮ソニックシティ4階 国際会議室, 主催: 埼玉県, 公益財団法人埼玉県産業文化センター
File Information	washimiya nenpyo 20131019.pdf



[Instructions for use](#)

鷺宮×『らき☆すた』タイアップの経緯とその後の展開年表

(制作) 松本真治 (鷺宮商工会経営指導員)
(編集・レイアウト) 山村高淑 (北海道大学観光学高等研究センター)

2013年10月19日 15:00-16:40
アニ玉祭「アニメ・マンガの聖地サミット in 埼玉」配布資料

於
『アニ玉祭 (アニメ・マンガまつり in 埼玉)』
大宮ソニックシティ 4階国際会議室
主催：埼玉県、公益財団法人埼玉県産業文化センター

鷺宮×『らき☆すた』タイアップの経緯とその後の展開年表

年月	主な出来事
2004～2006年	
2004年1月	角川書店の月刊ゲーム雑誌「コンプティーク」に4コマ漫画「らき☆すた」連載開始。
2005年3月	鷺宮神社横の古民家改修完了。「大西茶屋」としてオープン。
2007年	
4月	アニメ「らき☆すた」テレビ放送開始（～9月）。オープニングの一部に鷺宮神社の鳥居と大西茶屋が風景として柊かがみとともに描かれる。 ファンが鷺宮神社へひっそりと訪れ始める。
5月	5月4日、らき☆すたTVアニメ化記念FanBook「おっかけ！セーラーふく」（同人誌）が発行され、鷺宮町を含むアニメのロケ地が紹介される。
7月	『月刊ニュータイプ』（角川書店）8月号の付録「『らき☆すた』的遠足のしおり」（両面ポスター）にて鷺宮神社が作品の舞台であると紹介される。 このころからファンが鷺宮神社へ大勢訪れるようになり、キャラクターを描いた絵馬を奉納したり、写真撮影をしたりする様子が多く見られるようになる。 隣接する久喜市在住者のホームページに「オタクの人が鷺宮神社に集まっていて治安が心配」との書き込みがある。これを見た産経新聞が鷺宮町商工会に取材。その記事がインターネットニュースに掲載される。 こうした状況を受け鷺宮町商工会事務局が、神社で来訪者にヒアリングを開始。のちにボランティアスタッフのリーダーとなる人物と出会う。
8月	報道された絵馬や神社の様子を見に、アニメファン以外の来訪者も増える。 鷺宮町商工会事務局スタッフ、2ちゃんねるの「神社OFF」のスレッドにて鷺宮土産のあり方などについての意見を求める。
9月	アニメ「らき☆すた」テレビ放送終了。 鷺宮町商工会事務局、アニメ「らき☆すた」について調査、角川書店に連絡を取る。企画書を作成し、角川書店へ持っていくことに。
12月	2日、イベント「『らき☆すた』のランチ&公式参拝 in 鷺宮」（企画：らっきー☆ばらだいす、主催：鷺宮町商工会、鷺宮町商工会青年部）を開催。3,500人が参加。 3日、「桐絵馬形携帯ストラップ」第一次販売。鷺宮町内17店舗で計1,000個を販売、開店30分で完売。 「鷺宮町平成19年歳末大売出し」（12月1日～9日）のスクラッチカードに「らき☆すた」のキャラクターが使用される。 20日、「桐絵馬形携帯ストラップ」第二次販売。鷺宮町内43店舗で3,000個を販売、開店1時間で完売。
2008年	
1月	元旦～3日、三が日の鷺宮神社参拝者数が30万人に。 鷺宮町商工会、「らき☆すた」ファン向けのグッズを正月用に用意。グッズを求めるファンのために大晦日・正月と商店街が店を開ける。原作者及びアニメーションキャラクターデザイナーの描き下ろし「らき☆すたポストカード」を商店街で販売する。
2月	10日、「桐絵馬形携帯ストラップ」第三次販売。鷺宮町内60店舗で8,500個を販売。
3月	3月30日～4月6日、鷺宮町商工会・幸手市商工会と共同でファン対象大売出し「ラッキー☆SALE」を開催。
4月	1日、「らき☆すた」登場人物の柊かがみ・つかさ姉妹とその一家（計6名）を1日付で、鷺宮町に特別住民登録。 6日、「大西茶屋3周年市「らき☆すた」感謝祭」の開催。町行政との協力により、柊かがみ・つかさ役の声優二人を招き「鷺宮町特別住民票交付式」を行う。これに引き続き、柊一家の特別住民票をファンに先行頒布。 同日、鷺宮神社境内にて声優白石稔氏を招きファン参加型イベントを開催。合計4,000人が参加。 4月6日～、鷺宮町内12店舗が参加して「らき☆すた飲食店スタンプラリー」を開催。9月24日まで。 7日、鷺宮町、柊一家の特別住民票を1枚300円にて頒布。1万枚の限定発行。
7月	6日、柊姉妹誕生日を記念して竹と短冊並びに芳名帳を用意。

8月	8月9日、「柊一家特別住民票」10,000枚を完売。 8月上旬、土師祭興会が9月に行われる土師祭において「らき☆すた神輿」を登場させることを決定。商工会ホームページならびに大西茶屋ほか町内にて担ぎ手100名募集を告知。3日間で114名の申し込みがある。
9月	9月初旬、鷺宮町、総事業費300万円で神社通り商店街に街路灯を40基新設。 9月7日、土師祭にて「らき☆すた神輿」登場。120人以上が担ぎ手として参加。 9月24日、「らき☆すた飲食店スタンプラリー」(4月6日から開催)を終了。のべ642人がスタンプラリーを完遂。12店舗合計で約600万円の売り上げ。 9月26日、らき☆すたOVA発売。
11月	11月5日～12月7日、「鷺宮&萌え川柳☆狂歌コンテスト」を実施。WEBサイト応募392通、大西茶屋応募370通の計762通が集まる。
12月	12月20日～28日、「LUCKY☆SALE」実施。「ハズレ」が出ても、「キャラ入りハズレ」で「らっきー☆ポーカー」のチャンス。 12月31日21:00～、「行く年来る年鷺宮絵馬市」開催。「桐絵馬型携帯ストラップ」第四次販売。全12種類、計3,000個(完売)。
2009年	
1月	元旦～3日、三が日の鷺宮神社参拝者数が42万人に。
3月	3月3日、「鷺宮町商工会の新たな挑戦!まちおこしドラマ「鷺宮☆物語(仮題)」～あなたも一緒にまちおこし～」企画案の一般募集開始。 3月28日～、鷺宮町商工会・幸手市商工会と連携し、「桐絵馬型携帯ストラップ」第四次分、8,000個を再販。全12種類、計3,000個(約3ヶ月で完売)。
7月	7日、柊姉妹誕生日緊急企画「らき☆すたクイズ」、「間違い探しゲーム」を実施。大西茶屋前に竹と短冊を用意。大西茶屋にてパースデーケーキセット77食限定販売し完売。約300名が訪れる、 18日、「萌フェス in 鷺宮 2009～あなたが痛いから～」開催。来場者数2,500名
8月	2日、痛車グループの痛車@鷺宮30名が鷺宮町内を自主的に美化清掃活動実施
9月	9月初旬。昨年設置した商店街の街路灯に、県・町の支援を受け商工会が柊姉妹のイラスト入りフラッグを取り付ける。 6日、土師祭に「らき☆すた神輿」がイラスト部分を一段増やす形で登場。63,000人來場。
10月	8日、埼玉新聞が別刷り特集「らき☆すた in サイタマ」を発行。 8日～、鷺宮町商工会・幸手市商工会共同スタンプラリー「らっきー☆すたんぷらりー」始まる。飲食店15店舗(Aコース)、小売り業・サービス業47店舗(Bコース)の計62店舗が参加。2010年12月12日まで実施予定。
11月	22日、埼玉新聞65周年記念書き下ろし絵馬ストラップ販売。3種類、各1,300個、計3,900個。単価630円。約3ヶ月で完売。 埼玉県、東武鉄道、他県東部の東武鉄道沿線4商工会連携イベント「ちょ～でいーぶな埼玉フェスタ」の一貫として鷺宮町コミュニティ広場にて『痛車だよ!全員集合!～ドン引き!?痛車だらけの萌☆輪びっく～』開催。痛車は61台参加。萌☆輪びっくは約100名が参加。来場者は約1,000名にも及んだ。
12月	31日、柊一家特別住民票(第二弾)、販売開始。3万枚印刷。一部300円。
2010年	
1月	元旦～3日、三が日の鷺宮神社の参拝者数が45万人に。県内第2位になる。 大晦日～元旦、埼玉新聞&らき☆すたコラボ紙面「らき☆すた交流祭」を無料配布。
3月	22日、「鷺宮町卒業式」にて、卒業記念品『らき☆すた記念コイン』頒布。「コンプティーク」4月号1冊につき、1枚を引換。地域通貨として利用可。当日限定先着3,000枚。 22日、柊一家特別住民票(第二弾)、3万枚を完売。 22日、中央公民館ならびにコミュニティ広場にて『鷺宮☆物語』上映会開催。
4月	10日、ワーナー・マイカル・シネマズ羽生にて『鷺宮☆物語』上映開始。4月23日まで。
5月	5日、「大西茶屋」2階から、ミニFM放送局「ラジオ鷺宮」初放送。
6月	12～16日、上海万博アジア広場で「らき☆すた神輿」を展示。「ジャパNDER」に合わせて、日本からもファンが担ぎ手として現地にわたり、会場を担いで練り歩く。
7月	7日、柊姉妹誕生日企画「ツンダレソース再販」32店舗で取り扱い。東武鉄道鷺宮駅らき☆すた絵馬型特別時刻表を駅にて限定10,000枚配布。ミニFM放送局「ラジオ鷺宮」を特別放送。大西茶屋にてパースデーケーキセット限定154セット完売。(1セッ

	ト 600 円) 大西茶屋前に竹と短冊を用意。約 400 名が訪れる。
	31 日、人気イラストレーター西又葵氏デザイン痛茶を 12 店舗で販売
8 月	7 日、らき☆すた携帯電話充電器を 45 店舗で販売開始。
9 月	5 日、土師祭にて「らき☆すた神輿」登場。秋葉原ディアステージの協力を得て「WOTAKOI ソーラン祭り」、コスプレイベント団体の COSSAN の協力を得て「コスプレ祭り」を同時開催。コスプレ参加人数 653 名。土師祭来場者数 7 万人。ラジオ鷺宮×西山洋介の聴く映像特典特別版として『西山洋介の恥じ☆さい』を生放送実施。今年の土師祭は土師祭興會、埼玉新聞社、鷺宮商工会が共催で実施し、11 の企業がスポンサーとして協賛。
10 月	9 日、「萌フェス in 鷺宮 2010～おまえはもう…萌えている～」開催。痛車 34 台、痛チャリ 5 台、鷺宮の中心で萌えを叫ぶ参加 20 名、萌川柳&狂歌 117 件応募。らき☆すた新刊 8 巻発売記念特別封筒を 500 枚限定配布
11 月	28 日、鷺宮商工会青年部プロデュース企画 『オタ婚活 鷺宮出会い編～三次元の君に届け～』を開催。定員 40 名のところ 501 名 (男性 386 名、女性 115 名) の応募が殺到。20 組中 7 組がカップル成立。
2011 年	
1 月	元旦～3 日、三が日の鷺宮神社の参拝者数が 47 万人に。県内第 2 位になる。大晦日にフジテレビ年末特番『ホメられてピカルくん』が大西茶屋が生中継される。映画「鷺宮☆物語～商工会の挑戦～」DVDとして発売開始。商工会青年部企画制作のご当地ケロロ軍曹「鷺づかまれケロロ」発売。
5 月	15 日、ミニ FM 放送局「ラジオ鷺宮」毎週日曜日放送開始。パーソナリティーに歌手「浅見ユウコ」やらき☆すたファン「鷺宮 SNS」、地元高校放送部「久喜高校放送部」などが担当する。
7 月	7 日、柊姉妹誕生日イベント開催。JR 東日本東鷺宮において「らき☆すたセーラー服 (冬服) 型時刻表」、久喜駅において「らき☆すたセーラー服 (夏服) 型時刻表」を 18,000 枚配布 (各駅 9,000 枚)。埼玉新聞号外も大西茶屋前にて限定 1,000 部配られる。ミニ FM 放送局「ラジオ鷺宮」を特別放送。大西茶屋にてパースデーケーキセットも完売。(1 セット 600 円) 大西茶屋前に竹と短冊を用意。約 400 名が訪れる。
	17 日、鷺宮商工会青年部プロデュース企画 『第 2 回 オタ婚活 鷺宮学園編～趣味ばかりの君たちへ～』を鷺宮高校で開催。定員 40 名のところ 288 名 (男性 252 名、女性 36 名) の応募が殺到。20 組中 5 組がカップル成立。
9 月	4 日、土師祭にて新規イベント「わしのみや MISS コン～俺の兄貴がこんなに綺麗なはずがない～」開催。「らき☆すた神輿」も登場。秋葉原ディアステージの協力を得て「WOTAKOI ソーラン祭り」、コスプレイベント団体の COSSAN の協力を得て「コスプレ祭り」を同時開催。土師祭来場者数 7 万 2,000 人。今年も土師祭は土師祭興會、埼玉新聞社、鷺宮商工会が共催で実施し、多数の企業がスポンサーとして協賛。
11 月	3 日、「萌フェス in 鷺宮 2011～いっぺん、萌えてみる?～」開催。痛車 24 台、痛チャリ 3 台、痛単車 1 台が参加。鷺宮の中心で萌えを叫ぶ参加 12 名、萌川柳&狂歌 84 件応募。新規イベント「紅白歌合戦～俺の歌を聞け!～」に男女 14 名参加。萌☆輪びっくに総勢 54 名参加。埼玉新聞号外が当日 300 枚配られる。
12 月	18 日、鷺宮商工会青年部プロデュース企画 『第 3 回 オタ婚活 コスプレ編～あの日見た君の素顔を僕はまだ知らない～』を開催。参加人数は男性 15 名、女性 13 名、13 組中 3 組のカップル成立。
2012 年	
1 月	元旦～3 日、三が日の鷺宮神社の参拝者数が 47 万人に。昨年に続き県内第 2 位になる。ツングレソース新ラベル 2,000 本販売。うま辛ソース再販 1,000 本完売。SEGA くじ 100 ケース 5,000,000 円完売 (1 ケース 50,000 円)。らき☆すた甘酒おみき 1,000 本完売。らき☆すた発泡清酒おみき 1,000 本販売。ミニ FM ラジオ鷺宮年末年始特別放送実施 (12/31～1/3)
2 月	5 日、ラジオ鷺宮リニューアルスタート 17 番組 30 名が担当。毎週日曜日 12:00～16:00 放送開始。
3 月	31 日～4 月 1 日、アニメコンテンツエキスポにてらき☆すた神輿が展示される。
4 月	29 日、鷺宮商工会青年部プロデュース企画 『第 4 回 オタ婚活 ワンコイン編～輪廻のゴビャクエンデェ～』を開催。男女各 50 名募集のところ、男性 555 名、女性 78

	名が応募するほどの人気に。54組中25組がカップル成立。
5月	3日、萌え観光物産展出店 新宿区歌舞伎町
6月	11日、第1回鷺宮デジタルフォトコンテスト開催。計60作品の応募。 17日、宮城県七ヶ浜町復興応援イベント『サブカルフェスタ in 七ヶ浜』に出店。映画『鷺宮☆物語～商工会の挑戦～』上映。 20日、鷹宮神社エール発売。
7月	7日、柊姉妹誕生日イベント開催。柊つかさ役声優福原香織参加。来場者約500名。 7日、『番外編オタ婚活ワンコイン編～あの500円で待ってる～』を開催。男女各35名募集のところ、男性45名、女性43名が応募するほどの人気に。34組中11組がカップル成立。 8日、鷺宮商工会青年部企画のオタ婚活が、大学生起業家であり久喜市栗橋地区のまちおこし「鉄道むすめ栗橋みなみ」を立ち上げた若林福成氏の会社「合同会社福成」により、秋葉原を拠点とした『オタ婚活+』をスタート。毎週末定期開催。 15日、『第6回オタ婚活料理教室編～クッキングオタ～』を開催。今回初の鷺宮商工会女性部が主催。男女計19名が参加し2組がカップル成立。 29日、『第7回オタ婚活カラオケ編～アニソン in SHIDAX オタクのためだから～』を開催。今回初の人気カラオケ店SHIDAXを会場に開催。男女計20名参加し4組のカップルが成立。
8月	31日、第1回鷺宮デジタルフォトコンテスト応募作品から鷺宮オリジナルフレーム切手として発売。定価1,200円 限定1,500シート発売。
9月	2日、第30回土師祭開催。第2回「わしのみやMISSコン～俺の兄貴がこんなに綺麗なはずがない～」開催。ゲストに格闘家の長島☆自演乙☆雄一郎が特別審査委員として出演。「らき☆すた神輿」も登場。秋葉原ディアステージの協力を得て3年目となる「WOTAKOIソーラン祭り」、コスプレイベント団体のCOSSANの協力を得て「コスプレ祭り」を同時開催。コスプレ参加人数800名。土師祭来場者数7万2,000人。ミュージカル「らき☆すた≡おんすて」泉こなた役が土師祭特設ステージで初披露。土師祭30周年特別企画「オタクニカルパレード」開催。 今年も土師祭は土師祭興會、埼玉新聞社、鷺宮商工会が共催で実施し、多数の企業がスポンサーとして協賛。 15～16日、第9回オタ婚活林間学校編～FUKUSHIMA FANTASY～開催。初の一泊編。 参加費男性22,000円、女性18,000円。男女各20名募集のところ、応募締切時、男性70名、女性1名の応募。危機的状況をTwitterにてつぶやくとネットで話題となり、男性17名、女性16名が参加し6組のカップルが成立。 20日、ミュージカル『らき☆すた≡おんすて』が20日～30日まで開催。会場の東京ドームシティシアターG-ROSSOにて「らき☆すた神輿」が展示される
10月	6日、8～9月猛暑を考慮し中断していたミニFMラジオ「ラジオ鷺宮」が再開。 16日、毎週日曜日放送中のミニFMラジオ「ラジオ鷺宮」が月曜日～金曜日の午後8時～10時の間毎日放送がスタート。 27日、『第10回オタ婚活お面舞踏会編～オタの奇妙な婚活～』を開催。中身重視をテーマに顔をお面で覆う斬新な企画のため男性9名、女性8名と少数開催。8組中4組がカップル成立。実に確率にしてカップル率5割。
11月	1日、埼玉県観光課事業、アニメとスマートフォンを活用した観光誘客事業をスタート。埼玉県川越市を舞台にしたアニメ「神様はじめました」と久喜市鷺宮「らき☆すた」の2地域で展開。 3日、萌フェス in 鷺宮 2012～モエンジャーズ～を開催。萌☆輪ピック、なりきりものまね大会、鷺宮の中心で萌を叫ぶを開催。約300名が来場。 3日、コンテンツツーリズム研究会・第2回総会～学部生でも研究がしたい！～を開催。学生、行政関係、まちづくり関係者等60名が参加。 23日、『第11回オタ婚活お面舞踏会編～お面だけど愛さえあれば問題ないよねっ！～』を開催。中身重視をテーマに顔をお面で覆う斬新な企画が好評だったため第2弾を開催。男性15名、女性15名が参加。15組中7組がカップル成立。またしてもカップル率5割という驚異的な結果に。
12月	2日、ミニFMラジオ「ラジオ鷺宮」の第1週日曜日番組「若人ラジオ」内で、サッカー元日本代表GK、元浦和レッズGKの都築龍太さんが出演。サッカー少年を中心とした地元住民約40名が神社駐車場に集まり放送に耳を傾けた。

2013年	
1月	元旦～3日、三が日の鷲宮神社の参拝者数が昨年と同数の47万人に。ツングレソース、うま辛ソース、甘酒おみき、発泡清酒おみき再販。昨年に続きSEGAくじも販売。ゲーム作品「グリザイアの果実」と鷲宮商工会がコラボし初売り出店者並びに露天店舗で、グリザイアの箸袋と買い物袋が配布され大きな反響を得た。ミニFMラジオ鷲宮年末年始特別放送実施（12/31～1/3）年明けにFM NACK5のカウントダウンが中継される。
	12/31～4日、「らき☆すた×ローソン鷲宮東大輪店」コラボ企画開催。ローソン鷲宮東大輪店がらき☆すたのラッピングがされ、新商品「らき☆すたしょうゆラーメン」が発売される。 「らき☆すたニおんすて」泉こなた役の酒井蘭さん、柊かがみ役の櫻井ゆりのさんが、一日店員やFMラジオ鷲宮に特別出演をシファン約100名が熱狂した。
	1日、鷲宮神社絵馬掛け所において、らき☆すた原作者美水かがみさんが、らき☆すたスピンオフ作品「宮河家の空腹」のアニメ化を絵馬を用いて発表。大きな反響を得る。
	3日、『第15回オタ婚活書き初め編～おたはねっ！～』を開催。正月ということで参加者に書き初めをしてもらった。男性9名、女性8名が参加。8組中1組がカップル成立。
2月	10日、らき☆すたファン有志による鷲宮初の同人誌即売会イベント「らき☆フェス」が、鷲宮の上町集会所、仲町集会所の2会場で開催され30サークルが参加しファン300名が来場するなど大成功に終わった。
	24日、オタ婚活初の結婚カップルが、鷲宮商工会青年部プロデュースにより初めてのオタ結婚式を鷲宮神社で、オタ結婚披露宴を鷲宮商工会館2階で開催。披露宴ではオタ婚活スペシャルサポーターの声優福原香織さんからのお祝いメッセージと、らき☆すた原作者の美水かがみさんからのスペシャル色紙が贈られた。
3月	2日、埼玉県観光課事業、アニメとスマートフォンを活用した観光誘客事業の一環で、ARゲームアプリ配信開始に併せて大抽選会を開催。約200名が参加した。
4月	28日、『第1回オタ友活フレンド編～僕は友達を作りたい～』を開催。婚活疲れや婚活では重いという意見が多数寄せられたことから、もっと気軽に出会えるオタ友活を初開催。男女16名が参加。内9名が鷲宮の飲食店を利用し二次会に参加。
5月	26日、青年部主催、アニメファンによるさつま芋の苗を植えるイベント「俺の植えた芋がこんなに美味いわげがない。」が実施され、ファンと青年部員でさつま芋の苗を約300本が植えられた。
6月	28日、ミュージカル「らき☆すたニおんすて」黒井ななこ役の小新井涼がラジオ鷲宮に毎月第4金曜日の午後8時～10時までレギュラー出演が決定。その名も「小新井涼の鷲宮で飲ませて下さい！！」毎回鷲宮の飲食店を巡るラジオ鷲宮初の移動式放送。内容も飲食店だけにお酒を飲みながら語らう番組。初回にあたる6月は光寿司にて放送。
7月	7日、柊姉妹誕生日イベント開催。ミュージカル「らき☆すたニおんすて」黒井ななこ役の小新井涼がラジオ鷲宮出演。更に会場には特大柊姉妹ケーキ入刀、宝探しゲーム「俺の嫁を探せ」、大抽選会等のイベントを開催。来場者約500名が参加。
	7日、午後6時より青年部プロデュースによる初の大西茶屋夜営業が実施され、多くの客で賑わった。
8月	17日、鷲宮出身の公務員ランナー川内優輝選手の応援キャラクターを青年部が、らき☆すた原作者美水かがみ氏に依頼し制作された。名前は「武比奈まい」。由来は神社の祭神の名前と神楽の舞から取られた。キャラクターの名前と髪型はじめ服装など、川内選手自ら美水先生に要望し完成された。川内選手が出場する世界陸上モスクワ大会の男子マラソンを青年部主催のパブリックビューイングにてキャラクターをあしらった応援旗などを使い、市民やオタクや商工会関係者50名で応援した。川内選手は18位となり前回の世界陸上大邱大会と同順位だった。
9月	1日、第31回土師祭開催。今回より初めて会場を鷲宮コミュニティ広場に移動し「恥☆アソビ（仮）」と銘打ち、第3回「わしのみやMISSコン～俺の兄貴がこんなに綺麗なはずがない～」や秋葉原ディアステージの協力を得て4年目となる「WOTAKOIソーラン祭り」を開催。らき☆すたの柊つかさ役声優福原香織さんをゲストに招いて「福原香織王選手権」の開催も予定していたが、突然のゲリラ豪雨により中止となり、その他出店ブースやDJイベントも一部中止となった。なお、MISSコンのゲストにスマイルセラピー協会のマック赤坂が特別審査委員として出演。突風により破損した「らき☆すた神輿」も新しい絵柄になり登場。コスプレイベント団体のCOSSANの協力を

<p>得て「コスプレ祭り」を同時開催。コスプレ参加人数 1,100 名。土師祭来場者数 7 万 3,000 人。ミニFMラジオ「ラジオ鷺宮」は、初のニコニコ生放送を使用し神輿の最後の瞬間を中継した。昨年初登場した鷺宮商工会青年部主催の超三次元要塞ワシロスが街中を練り歩く「オタクニカルパレード」は電飾をつけて千貫神輿、らき☆すた神輿の後に続き周航した。ワシロスの上には、埼玉県のマスコット「コバトン」も乗船し会場を盛り上げた。</p> <p>今年も土師祭は土師祭興會、埼玉新聞社、鷺宮商工会が共催で実施し、多数の企業がスポンサーとして協賛。</p>
--

(制作) 松本真治 (鷺宮商工会)

(編集・レイアウト) 山村高淑 (北海道大学)

2004-2009 については、山村高淑・岡本健・松本真治・坂田庄巳・山内正明 (2010) 「鷺宮・幸手「まちおこし」年表 (2004-2009) ~鷺宮町と幸手市における地域振興の展開経緯~」山村高淑・岡本健編『次世代まちおこしとツーリズム』CATS 叢書第 4 号, pp.77-80 を参照。

→ <http://hdl.handle.net/2115/42926>